東京 SEO メーカー | ADMANO inc.

WHITE PAPER
SEO × SECURITY
2026.11

企業 Web 担当者・ SEO 担当者向け実務ガイド

SEO とセキュリティの関係

Web サイトの改ざん・停止による検索流入への影響と、緊急時の正しい対処法

PHP2Shell を事例に学ぶ



2026 年 11 月版　東京 SEO メーカー（アドマノ株式会社）

00 OVERVIEW

本資料でわかること

- セキュリティ事故が SEO ・検索流入に影響する 3 つの経路 → 01
- サイト停止時に 503 を使う理由と、 404 ・ 200 ・ noindex との違い → 03
- robots.txt を正常に配信し続ける必要性 → 04
- 復旧前・復旧後に確認したい実務チェックリスト → 06

対応の優先順位

① 利用者の安全 → ② システムの安全 → ③ 検索流入の保全

SEO への影響を抑えることより、安全確保を優先します。停止が必要な場合は、サーバー管理者と SEO 担当者が共同で復旧計画を進めます。

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

CONTENTS

目次

01 セキュリティ事故と SEO の接点
3 つの経路と影響の流れ

02 PHP2Shell の概要と確認すべき対象
事例・修正版・確認項目

03 停止時の HTTP ステータスコード
Google の扱いと停止期間別の対応

04 robots.txt と Googlebot の挙動
5xx 時のタイムラインと推奨構成

05 緊急メンテナンス運用手順
6 ステップと依頼文例

06 復旧後の SEO 確認チェックリスト
応答・ Search Console ・運用

07 参考資料・無料診断のご案内

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

01　SECURITY × SEO

セキュリティ事故が検索流入に影響する 3 つの経路

セキュリティは順位を直接決める単一の評価項目ではありません。しかし事故が起きると、 Google からの「見え方」が変わり、露出やアクセスに影響します。

発生事象	Google から見える状態	検索への影響	初動対応
サイト改ざん	不正ページ・不審リンクがクロールされる	不正なページが検索結果に表示される可能性	**範囲調査・隔離・復旧**
マルウェア・フィッシング	危険なサイトとして検出される	検索結果やブラウザで警告が表示される場合	**Google サーチコンソールの「セキュリティの問題」を確認**
サーバー停止・誤設定	ページを取得できない／誤った応答	クロール不能、インデックスへの影響	**復旧見込みを把握し、短期は 503**

出典： Google Search Console ヘルプ「セキュリティの問題」、 Google 「 HTTP ステータスコードとクローラー」

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

02 CASE STUDY: PHP2SHELL

PHP2Shell とは：任意コード実行のおそれ

2026.10.21
PHP 公式が修正版を公開
CVE-2026-109618 ／ 109619

2026.10.22
IPA が注意喚起
通称「 PHP2Shell 」

2026.11.02
IPA が情報を更新
最新情報の確認を推奨

悪用された場合に起こり得ること

攻撃者
脆弱な環境を探索

→

脆弱な PHP
悪用条件が成立

→

任意コード実行
サーバーを不正操作

→

改ざん・不正設置
不正ページ・マルウェア

→

SEO への影響
警告表示・評価低下

注意　修正版は本件 2 件に対するもので、「すべての脆弱性に対して安全」という意味ではありません。 WordPress を更新しても、 PHP 自体の更新は完了しません。

出典： IPA 「 PHP の脆弱性対策について（ PHP2shell ）」、 PHP 公式セキュリティリリース

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

02 WHAT TO CHECK

修正済みバージョンと、確認すべき 4 つの層

本件の修正版（ 2026 年 10 月 21 日）

PHP 系統	修正済みバージョン
8.5 系	8.5.12 以降
8.4 系	8.4.27 以降
8.3 系	8.3.36 以降
8.2 系	8.2.35 以降

古い PHP 系統やホスティング会社の独自パッチは別途確認が必要です。

WordPress 更新 ≠ PHP 更新

Web サイトを構成する層と確認項目

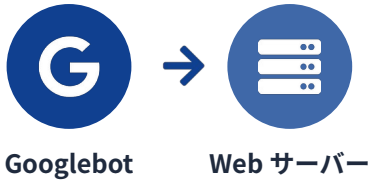


＋ 侵害の痕跡：不審ファイル・不明な管理者・アクセスログの異常

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

03 HTTP STATUS CODE

返すコードで、 Google の扱いが変わる



noindex ・ X-Robots-Tag も
インデックス削除につながる

503 ／ 5xx	**一時的な障害として扱う** インデックスは当面維持。クロール頻度を下げ、長く続くと削除	推奨（短期）
403 ／ 404 ／ 410	**存在しない・拒否として扱う** インデックスから削除され、クロール頻度も徐々に低下	使わない
200 （メンテ画面）	**通常のページとして扱う** 案内画面の内容が本来のページとして処理されるおそれ	使わない

出典： Google 「 HTTP ステータスコード、ネットワークエラー、 DNS エラーが Google のクローラーに与える影響」「ウェブサイトを一時停止または無効化する」

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

03 BY DURATION

停止期間別に見る、 Google が推奨する対応

まずは	1 ～ 2 日の緊急停止	それ以上の長期停止
最優先	短期のみ	長期
機能を制限して公開を継続	**503 ＋ Retry-After**	**200 の仮トップページ**
問題の機能だけ止める・隔離する。 Google はサイトをオンラインに保つことを推奨	エラーページを 503 で返す。 Retry-After で目安を伝える（再クロール時刻は保証されない）	503 を続けず、インデックス可能な案内ページを 200 で返す。全面停止は数日以内に留める

期間にかかわらず避けるべき方法

- ✕ 403 ／ 404 ／ 410 を返す
- ✕ noindex を付ける
- ✕ robots.txt で全面 Disallow
- ✕ robots.txt に 503 を返す

出典： Google 検索セントラル「ウェブサイトを一時停止または無効化する」

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

04 ROBOTS.TXT & GOOGLEBOT

robots.txt だけは止めない： 5xx 時の Google の挙動

robots.txt が 5xx （ 503 を含む）を返すと、通常ページの 503 とは違い、サイト全体のクロールに影響します。

0 〜 12 時間	12 時間〜 30 日	30 日以降
クロールを停止 robots.txt の再取得を試み続ける	**最後の正常版を使用** 取得できない間は、以前の正常な robots.txt を参照	**状況により異なる** サイトが概ね利用可能なら robots.txt なしとして扱い、不安定ならクロール停止

停止中の正しい応答

通常ページ	503	Service Unavailable
/robots.txt	200	従来の有効な内容

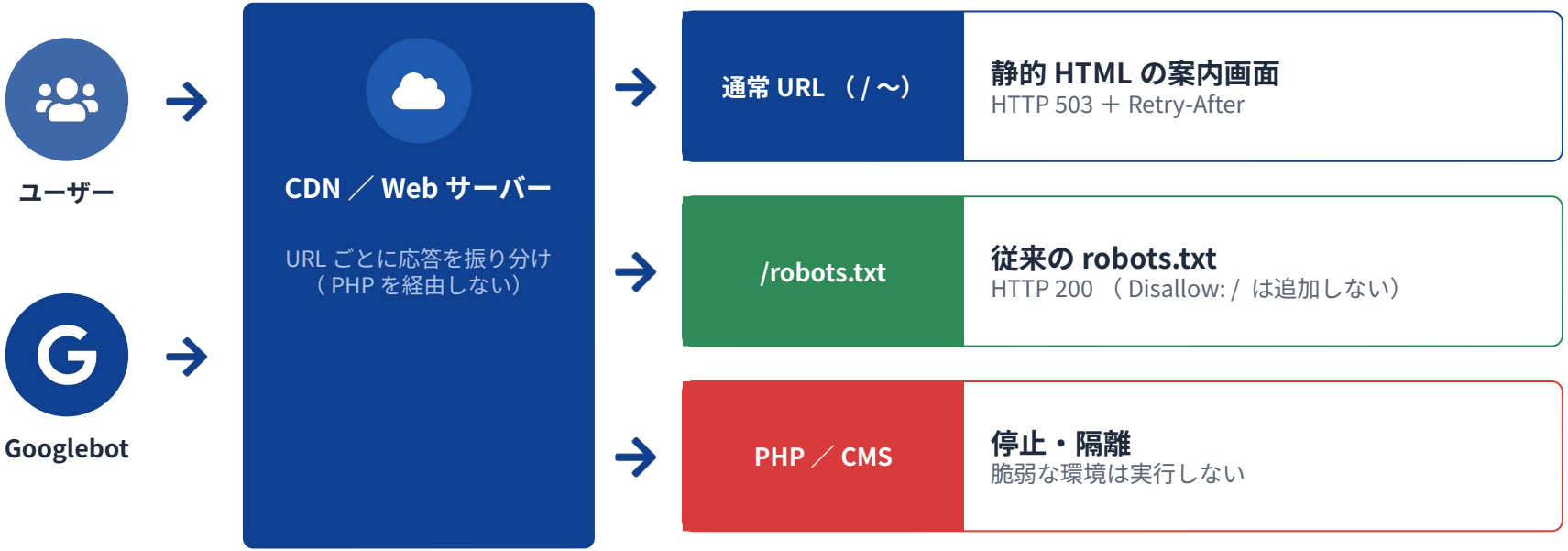
Google の注意喚起
robots.txt に 503 を返すと「すべてのクロールがブロックされる」。全面 Disallow の有効な robots.txt は「コンテンツが削除される可能性がある」。

出典： Google 「 Google による robots.txt の仕様の解釈」「ウェブサイトを一時停止または無効化する」

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

04 RECOMMENDED SETUP

緊急メンテナンス時の推奨構成



出典： Google 検索セントラル「ウェブサイトを一時停止または無効化する」をもとに東京 SEO メーカー作成

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

05 EMERGENCY MAINTENANCE

緊急メンテナンスの運用手順（6 ステップ）

調査	遮断			告知	復旧
01	02	03	04	05	06
影響範囲を確認	**停止範囲を最小化**	**サーバー／ CDN で 503**	**robots.txt を分けて配信**	**復旧目安を案内**	**安全確認後に再公開**
PHP ・ CMS のバージョン、影響条件、ログ、不審ファイルを調査。侵害の疑いがあれば証拠保全と隔離を優先	全体停止より影響機能のみの停止・隔離を検討。安全上必要なら全体停止	脆弱な PHP を実行せず、静的 HTML の案内画面と 503 を返す構成に	通常ページは 503 、 robots.txt は有効な内容を 200 で返す	状況説明と連絡方法を掲載。必要に応じ Retry-After を設定	修正・動作確認・ステータスコード確認を経て公開へ戻す

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

05 REQUEST TEMPLATE

サーバー担当者への設定依頼例

停止を判断したら、次の内容をそのままサーバー担当者・制作会社に伝えてください。

緊急メンテナンス中、通常 URL は静的 HTML の案内画面と HTTP 503 を返してください。

/robots.txt のみ従来の内容を HTTP 200 で返し、 Disallow: / の追加は避けてください。

復旧後は通常ページの 200 応答と、 Googlebot からの取得可能性を確認してください。

通常 URL
静的 HTML ＋ 503

/robots.txt
従来の内容＋ 200

避けること
Disallow: / の追加

復旧後
200 応答と Googlebot の取得を確認

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

06 RECOVERY CHECKLIST

復旧後の SEO 確認チェックリスト

サイトの応答

- [ ] 主要 URL （トップ・サービス・問い合わせ）が 200 で応答
- [ ] /robots.txt が取得でき、意図しない全面 Disallow がない
- [ ] noindex ・ X-Robots-Tag ・ canonical ・リダイレクトに異常がない

Search Console

- [ ] 「ページのインデックス登録」を確認
- [ ] 「クロールの統計情報」で 5xx の増加を確認
- [ ] 「セキュリティの問題」を確認
- [ ] 重要ページの URL 検査と再クロール依頼

調査・運用

- [ ] 改ざんページ・身に覚えのない URL ・不審な外部リンクを調査
- [ ] クリック数・表示回数・主要クエリを継続監視
- [ ] CMS ・ PHP ・プラグイン・バックアップの運用担当を決定

判定のポイント　Search Console の数値は反映に時間差があります。復旧直後の単日変化で判断せず、サーバーログや Googlebot の取得結果と合わせて判断してください。

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

07 REFERENCES

参考資料

01 **Google 検索セントラル「ウェブサイトを一時停止または無効化する」**
https://developers.google.com/search/docs/crawling-indexing/pause-online-business?hl=ja

02 **Google 「 Google による robots.txt の仕様の解釈」**
https://developers.google.com/crawling/docs/robots-txt/robots-txt-spec

03 **Google 「 HTTP ステータスコードが Google のクローラーに与える影響」**
https://developers.google.com/crawling/docs/troubleshooting/http-status-codes

04 **Google Search Console ヘルプ「セキュリティの問題」**
https://support.google.com/webmasters/answer/9044101?hl=ja

05 **IPA 「 PHP の脆弱性対策について（ PHP2shell ）」（ 2026 年 11 月 2 日更新）**
https://www.ipa.go.jp/security/security-alert/2026/alert20261022.html

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.

FREE DIAGNOSIS

企業 Web サイト向け 無料診断のご案内

PHP や WordPress の更新状況、サーバー構成、検索エンジンへの影響が気になる場合はご相談ください。確認可能な範囲で現状を点検し、必要な対策をご案内します。



※ 修正・更新作業は、内容と費用を別途ご相談のうえ対応します。

世界基準で SEO 、 AIO 、 LLMO を設計する

診断でわかること

- PHP ・ WordPress の更新状況
- サーバー構成と配信設定
- 検索エンジンへの影響リスク
- 必要な対策と優先順位

東京 SEO メーカー
https://www.switchitmaker2.com/

© 東京 SEO メーカー / ADMANO inc.